

# 写真でよみがえる50年 vol. 2

## 県道岩槻・幸手線 (日光御成道)



一里塚付近

県道岩槻・幸手線は、町内東部の彦兵衛・岡泉・上野田・下野田地区を縦断する主要道路です。江戸時代には、将軍が日光社参に通過した「御成道」でもありました。



往還橋(昭和44年2月)

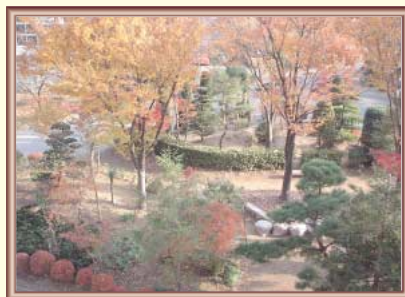
この主要道路も車の排気ガスなどの影響の少なかった昭和20、30年代までは、沿線に見事な杉並木が見られ、また昭和40年代までは写真のような未舗装の砂利道でした。

岩槻方面の主要道は、町内特産である梨の東京千住市場への出荷にもなくてはならないものでした。かつては、自転車のリアカーに梨かごを積んで、この凸凹の砂利道を運んだものでした。

戦前には、木炭トラックで出荷したこともありました。

ふるさと  
白岡紀行

## 大山庭園に集う



紅葉の大山庭園

本校を訪れた人々は、校門から一歩足を踏み入れると、目の前に広がる「大山庭園」の存在に驚嘆します。よく手入れの行き届いた木々の種類の多さは、他校にはない大山小自慢の財産と言えます。

吉野桜、枝垂れ桜、梅、椿、藤、黄楊、月桂樹、榎、沈丁花、牡丹、楓(紅葉)、花水木、檜葉、万作、五葉松、黒松、百日紅、加羅、橘、満天星、木犀、海棠、珊瑚、辛夷

わが校自慢

大山小学校



子どもたちが楽しみにしている「焼きいも集会」

五月、躑躅、櫻、八つ手、雪柳、ちよっと足を延ばせば、胡桃、李、無花果、銀杏、珊瑚樹、橘、南天、桜桃、ドラセナ、ポプラ...等々。これらの木々の間を、子どもたちは可愛い声をあげながら走り回ります。また、雀、椋鳥、白鶺鴒、尾長、百舌、鶇鳥、目白、(鶇もいたとか?)たちも負けずに大山庭園の中を散策し、至福の時を過して巣に帰るのです。小鳥たちにとって大山庭園は楽園なのでしょう。時には、ご近所のお年寄りたちもお花見に訪れてくださいます。秋になると、緑色の庭園から一変し、葉が色染まり錦織りなす様は、絵画のごとく美しい世界をつくります。やがて櫻の葉が落葉した後は、子どもたちが楽しみにしている「焼きいも集会」が待っています。櫻の葉が燃え尽きその白灰の中から素朴な甘い香りが大山庭園に広がる瞬間、子どもたちの歓声があがるのです。まさに大山庭園冬の風物詩がここにあります。

ぜひ大山庭園にお越しください!